

「子育て・まちづくり支援プロデューサー」オンライン・シンポジウム

ウイズ・コロナ すべての人に「居場所」を ～シニア世代がひらく共生社会への道～



主催：NPO法人あい・ぽーとステーション 助成：住友生命保険相互会社 後援：厚生労働省・内閣府



3回の連続シンポジウムを開催

新型コロナウイルスの感染拡大は、社会の分断、「人」の分断を促しました。「人」を元気に、豊かにするのは、何より「人」とのふれ合いから。だから、地域社会に「出番」と「居場所」を見つけて、生きがいあふれる生活を送りたい。それは、とりわけ孤立・孤独になりがちなシニア世代に求められることではないでしょうか。共に支えあい、語りあい、元気に過ごす—そうした「共生」の社会を開いていくのは、あなた自身の「一歩」からです。

本シンポジウムでは、(1)「居場所」をどう見つけていくか(2)各地での果敢な実践例をさぐる(3)シニア男性の社会参加に先駆けてきた「まちプロ」をモデルに、地域貢献の活動を深化させる道を探ります。

プログラム

★ すべてZOOMによるオンライン・シンポジウム。各回参加者は、感想等をリアルタイムで送信可。

<p> 【第1回】 新しい共生のカタチへ 2020年11月7日(土) 15:00~16:30</p>	<ul style="list-style-type: none">◆ 基調講演① 「コロナ禍の子どもたちの居場所」 山口 正行 (厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課虐待防止対策推進室長)◆ 話題提供① 「世代を超えた居場所の実現」 森田 真希 (NPO法人 地域の寄り合い所 また明日 代表理事)◆ 基調講演② 「新たな“つなぎ直し”の時代に」 宮本 太郎 (中央大学法学部教授) 「参加者による討論」
<p> 【第2回】 新時代への種まきプロジェクト 2020年12月12日(土) 15:00~16:30</p>	<ul style="list-style-type: none">◆ 基調講演① 「参加・協働の在り方 少子化対策の観点から」 泉 智子 (内閣府子ども・子育て本部参事官(少子化対策担当))◆ 基調講演② 「社会貢献と生きがい・健康をめぐって」 藤原 佳典 (東京都健康長寿医療センター研究部長) 「参加者による討論」
<p> 【第3回】 まちプロ全国展開へ 2021年1月24日(日) 15:00~17:00</p>	<p>「シニア世代の【これまで】と【これから】」</p> <ul style="list-style-type: none">◆ 基調講演① 権丈 善一 (慶應義塾大学商学部教授)◆ 基調講演② 高木 美智代 (衆議院議員・元厚生労働副大臣)◆ トークセッション 高木 美智代 権丈 善一 汐見 稔幸 (東京大学名誉教授・本法人理事) 司会: 大日向 雅美 (恵泉女子大学学長・本法人代表理事) <p>「若い世代からのメッセージ」</p> <p>後藤 慶太郎 (厚生労働省 子ども家庭局家庭福祉課 虐待防止対策推進室自治体支援係) 八木 万祐子 (内閣府 子ども・子育て本部参事官(少子化対策担当)付)</p> <p>～「つながりま賞」授賞式～</p>

参加対象：ご興味のある方はどなたでも参加頂けます 定員：先着250名 参加費：無料

申込方法：あい・ぽーとステーションHP または右記QRコードよりオンラインでお申込み下さい

申込み切：各回 開催の5日前まで



オンライン・シンポジウムについて

趣 旨

NPO法人あい・ぽーとステーションは2003年から地域の育児力向上をめざした活動を展開してまいりました。その一環として2013年春から「現役時代の名刺で勝負!」と銘打って、シニア男性の第二の人生を切り開く活動支援を実施しております(子育て・まちづくり支援プロデューサー:愛称 まちプロ)。一枚の名刺には長年の仕事人生で蓄えた素晴らしい知識・技能・経験が込められている、それを地域活動と子育て支援に生かしてほしいと願ってのことでした。

これまでほとんど接点のない世界に躍り出た男性たちですが、この7年間の歩みにはシニア世代男性にとって想定外の大きな喜びと気づきがありました。同時に従来、女性と子どもから成り立ってきた地域や子育てひろばの光景もまた、シニア世代男性の参画で一変しました。まさに老若男女が互いに手を携え支えあう地域がスタートしたといつても過言ではありません。

そうした中、今春から世界を覆ってきた新型コロナウイルスの感染拡大によって、社会も人も分断されています。人々は多くの不安をかかえ、内向き志向が顕著になっています。私たちはこういう時代だからこそ、人と人との絆、共生のあり方を見つめなおしたいと考えます。人を元気にするのはやはり人とのふれ合いです。誰一人として取り残されることなく、すべての人が自分らしい“居場所”を見つけられる社会を築きたい。世代を超えて、性を超えた支えあいによる地域づくりを進めてきた私たちの活動をさらに広く発展させたい。それがコロナ禍に打ち勝つ道と信じます。

オンラインシンポジウム「ウィズ・コロナ すべての人に居場所を」(全3回)に、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

「まちプロ」とは…

シニア“男性”を対象とした、全国でも画期的なプロジェクト(住友生命保険相互会社助成事業)。2013年に開始され、養成講座を受講し『子育て・まちづくり支援プロデューサー』に認定されたシニア男性たちが、自治体(港区・千代田区等)とNPO法人あい・ぽーとステーションの協働による子育て支援を軸とした“有償”的な地域活動で活躍している。企業人・社会人として培ってきた豊富な人生経験を活かしながら、シニア男性が地域で活躍する姿は、新たな生きがいづくり・社会参加のプログラムとして注目されてきています。

現在、第8期まで養成が進み、**第9期養成講座を来春(2021年2月頃)開講予定**です。

まちプロ つながりま賞創設

シニア世代男性の地域貢献活動を全国各地に広げるために、ご一緒に活動してくださる方々やグループ、これから類似の活動を始めたいと考えている方々を募らせていただきます。

表彰:応募団体の中から、次の2タイプを選考させていただきます。

★ **スクラム組みま賞** 1団体 (すでにある程度活動実績があり、本法人と互恵的な関係が発展できる団体)

★ **一緒に歩みま賞** 2団体 (ようやく活動を始めたばかり、あるいはこれからスタートする団体等。僭越ですが本法人がそのお手伝いをさせていただければ幸いです)

活動応援費各賞 50,000円は、住友生命保険相互会社の助成金を使わせていただきます。

応募方法:本法人のHPで公開の募集要項等に沿ってご応募ください。**12月4日(金)まで。**

法人紹介・お問い合わせ

NPO法人 あい・ぽーとステーション:代表理事 大日向 雅美 (恵泉女学園大学学長)



(法人紹介) 【HP】 <https://www.ai-port.jp/> 【受賞歴】 日本経済新聞社「にっこい子育て支援大賞」(2007年)
内閣総理大臣表彰「子どもと家族を応援する日本」功労者(2008年)
(お問い合わせ) 【TEL】 03-3556-8471 【FAX】 03-3556-8475 【E-mail】 koza@ai-port.jp

トピックス TOPICS

シニア層の活用 ～子育ての担い手の多様化～

シニア層を含めた子育ての担い手の多様化は、子育て世帯の負担の軽減という観点から重要なテーマの一つである。「少子化克服戦略会議提言」(2018年6月4日少子化克服戦略会議決定)では、「シニア層が若い世代に支えられるだけでなく、子育て世代の支え手になるという発想の転換が必要であり、活力・意欲のあるシニア層などの参画を促し、子育て支援の裾野を広げていく取組は地域社会の活力維持という観点からも重要である」とされており、「少子化社会対策大綱」(2020年5月29日閣議決定)においても、NPOやシニア層などの参画促進による地域での子育て支援など、子育ての担い手の多様化と世代間での助け合いが重点課題とされている。

また、民間企業等での仕事を中心としてきた人たちが、退職後に自身の孫の世話や地域の子育ての担い手となることは、子育て世帯の負担の軽減だけでなく、地域活動全般の担い手としての貢献や、また民間企業等を退職した後のシニア自身の新たな活躍の場となることなどが期待される。

こうした観点から、シニア層が家庭内の家事・育児や、地域での子育て支援に参画しやすくなるための取組が行われており、以下、それらの取組の一部を紹介する。

1. 現役時代の経験を活かした子育て支援を核とするまちづくりへの貢献

「NPO法人あい・ぼーとステーション」(代表理事 大日向雅美)では、周辺地域の子育て家庭に対する多様な子育て支援を提供する

とともに、地域で活動する子育て・家族支援者の育成や、全国の子育て支援組織の運営強化のためのリーダー養成講座の開催などを行っている。中でも、その子育て・家族支援者の育成活動の一環である「子育て・まちづくり支援プロデューサー養成講座」(住友生命保険相互会社助成事業)は、定年前後の男性を主な対象として2013年から開催されている。

仕事一筋に生きてきた男性にとっては、退職しても、なかなか地域貢献に足を踏み出しづらいという課題があるが、仕事を通して築いてきた能力や知識、経験を、子育て支援を核とした地域貢献活動にいかしてもらうため、「現役時代の名刺で勝負!」というキャッチコピーの下、育成活動を行っている。

講座では、現代の子育てと地域コミュニティなど、様々な分野に関する座学や実習が行われる。講座を修了し、「子育て・まちづくり支援プロデューサー」に認定されると、自治体(港区・千代田区等)と同法人の協働による、子育て支援を軸とした有償の地域活動に参画でき、地域における子育ての担い手として活躍できるほか、参加者自身にとっても、退職後の新たな生きがいとなるなどの効果が期待される。支援者としての活動は、直接子供と触れ合う活動だけでなく、子育て支援拠点のパックオフィス的な活動もあり、地域における子育てに関する活動全般にわたる。そのため、各自が得意とする分野において活躍することができる。

同団体では、基礎自治体・企業等との緊密な協働体制の下で、相互扶助の理念を地域に展開することを目指した子育て・家族支援活動を引き続き実施することとしている。

第8期 養成講座
参加者募集

シニア世代の“男性”皆さん!!
あなたの“力”を地域で活かしませんか!?

NPO法人 あい・ぼーとステーション認定

主催:NPO法人 あい・ぼーとステーション 助成:住友生命保険相互会社



「子育て・まちづくり支援プロデューサー」

～ベテランの企業人が“現役時代”的名刺で勝負!～

「子育て・まちづくり支援プロデューサー」養成講座6周年記念シンポジウム

シニア世代男性が投げかける新たな社会モード転換 ～競争原理から分かれ合いへ～

会場:六本木ヒルズ ハリウッドホール(東京都港区六本木6-4-1)

対象:行政担当者(国・都道府県・市区町村)、社会福祉・社会保障・子育て支援関係者、その他

主催:NPO法人あい・ぼーとステーション 助成:住友生命保険相互会社

～プログラム～

◆開会挨拶

住友生命保険相互会社執行役常務 宋森 刚志

◆まちプロ活動の紹介(ビデオ)

さくらまちづくり支援プロデューサー(まちプロ)にどんな活動している?

◆まちプロは語る

まちプロ活動から得られた生きがい・幸福は?

◆鼎談

いかにして分かれ合いに基づく参画型社会を実現するか?

話題提供: 神野 直彦 横丈 善一 大日向 雅美

コーディネーター: 大日向 雅美



特別シンポジウム

女性の“生涯就業力”講座

～しなやかに、したたかに～

(主催: 恵泉女学園大学&NPO法人あい・ぼーとステーション)

「女性国会議員と語る女性施策・子育て支援施策」

女性活躍の時代を迎えました。女性の力を社会に活かせる時代の到来です。管理職の女性など草やかな選択に目を奪われがちですが、今、真に必要なことは女性ひとり一人の選択です。常に自分らしく生きる希望を持ち、そのための努力を惜しまないことです。生涯にわたって、身近な大切な人のために、困難を抱えている人のために、地域・社会のために尽くし、自分らしく生き続ける力、すなはち「生涯就業力」の育成です。女性施策や子育て支援にご尽力下さっている女性国会議員を囲んで、女性たちが、しなやかに、強かに(いたか)に生きていける機会にできたらと思います。

シンポジスト

各党の女性国会議員(国会等の合意で必要な可能性もあることをご了承下さい)

自民党: 高階 恵美子 議員 民進党: 山尾 志桜里 議員・宮沢 由佳 議員

公明党: 高木 美智代 議員

《話題 提供》 大日向 雅美 (恵泉女学園大学学長)

《コーディネーター》 定松 文 (恵泉女学園大学大学院研究科科長)

子育て・まちづくり支援プロデューサー

活動紹介

イベント



まちプロタイム



まちプロ活動

まちプロタイム

- ◆子育てひろばでの実演&保健

- ・読み聞かせ
- ・各地の子育てひろばでお誕生日会
- ・特別支援学校等の児童の支援
- ・父親向け講座の企画・運営

- ◆「藍カフェ」の企画・運営
- (子育てひろば「あい・ぼーと」)

- ・各種おひろばフェスタ

イベント

- ◆子育てひろば「あい・ぼーと」でのイベントの企画・運営

- ・毎夏、東京国際フォーラムにて
キッズイベントに参加
- ・餅つき会
- ・ひだまり市場
(フリーマーケット&バザー)

- ・各種おひろばフェスタ

カフェ

- ◆「藍カフェ」の企画・運営
- (子育てひろば「あい・ぼーと」)

- ・子育てひろばで、接客から
コートリップまで、
「カフェマスター」として
活躍!

- ・各自治体や団体等に
出張してキャラバン活動
- ・まちプロ養成講座や
活動の広報

カフェ



子育て支援員研修の運営
(港区・千代田区・渋谷区・高島市・戸田市など)

AI cafe
Menu

お菓子
おやつ
おやつ

子育て支援員研修の運営
(港区・千代田区・渋谷区・高島市・戸田市など)

広報

- ◆まちプロ活動の広報

- ・各自治体や団体等に
出張してキャラバン活動

- ・まちプロ養成講座や
活動の広報

まちプロキャラバン活動
・和菓子・お菓子販売会
・高島市子育て支援員研修会

・まちプロキャラバン活動
・和菓子・お菓子販売会
・高島市子育て支援員研修会

など

※ 2019年10月の場合は

広報

など

シニア世代が企業経験を活かして
“パックオフィス的”活動